会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決 算 特 別 委 員 会 産 業 建 設 分 科 会		会 議 場 所 第 2 委 員 会 室 担 当 職 員 三 宅
日 時	平 成 2 7 年 9 月 2 5 日 (金 曜 日)	開 議	午 前 1 0 時 0 0 分
		閉 議	午 後 1 時 5 4 分
出 席 委 員	湊 小 島 菱 田 並 河 福 井 齊 藤 藤 本		
出 席 理 事 者	[産業観光部]山田部長、内田農政担当部長 [ものづくり産業課]野々村課長、三宅副課長、三宅商工係長 [観光戦略課]森課長、玉井観光企画係長 [まちづくり推進部]古林部長、橋本土木担当部長 [都市計画課]関口課長 [都市整備課]伊豆田課長、笹原公園整備担当課長 [桂川・道路整備課]並河課長、関道路整備担当課長 [土木管理課]柴田課長 [建築住宅課]中西課長		
出 席 事 務 局	三宅主任		
傍 聴 者	市 民 1 名	報 道 関 係 者 名	議 員 名

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

- 1 開会（委員長あいさつ）
- 2 事務局日程説明
- 3 付託議案審査（事務事業評価選定項目を除く）

[産業観光部入室]

- ・ 産業観光部長あいさつ

<ものづくり産業課長>

昨日、並河委員から質疑のあった、労働費に係るハローワークプラザかめおかの状況について報告する。26年度末の登録者数は1447名であり、平成23年度時点と比較して、200名余り登録者数は増加している。利用者等については、現在インターネットによる検索等が可能となっているため、詳細に把握できていない。

平成26年度亀岡市一般会計決算認定（第6号議案）
所管分（7款商工費）

- ・ 産業観光部所管課長、順次説明（歳出・歳入一括）

~ 1 0 : 3 4

[質疑]

<福井委員>

P162、商工業振興対策経費に係り、商店街街路灯等維持・管理事業補助金はどのようにして交付しているのか。

<ものづくり産業課長>

過去には京都府等の補助金を活用し各商店街で街路灯を設置されていたが、現在で

は補助を受けないことを前提に市で設置することに切り替わっている。しかし、以前のまま使用されることを選択された稗田野町、大井町の2件について、当該補助金を交付したものである。

< 湊委員長 >

場所はどこか。

< 産業観光部長 >

稗田野は灯ろう、大井は並河駅前である。過去には街路灯の助成制度があったが、電気代が高く本来の事業展開ができないことから、補助金増額の要請があった。それならこの際LED化にして電気代補助をしないようにして、以前のまま補助するかLED化に切り替えるかの2者選択による経過がある。稗田野の方では今年から自治会管理に移管し、大井だけが残っている。

< 並河委員 >

P162、西別院工業団地用地の取得に係り、用地は借地として太陽光発電事業者にも今後も貸していくのか。

< ものづくり産業課長 >

売却を前提とした議会からの提言も受けているが、現状では事業の推移を見守る中で、一定の確約が取れてから処分されたいという要望も地元から受けており、普通財産として賃貸の方法をとっているが、将来的には処分していきたいと考えている。

< 並河委員 >

年間の借地料は。

< ものづくり産業課長 >

太陽光発電事業者とユメミファクトリーの2者に合わせて520万7千円を貸付料としている。

< 並河委員 >

P163、金融対策経費に係り、中小企業者資金借入保証料助成の実績の割合は。

< ものづくり産業課長 >

保証料助成については、対象借入金額が1千万円以下であることから、小規模事業者向けとなり、その内訳については、工業、商業関係それぞれあり、厳密に把握はできていない。京都府の制度融資は多岐に渡っているので、あえて市独自の融資制度を創設するよりは、京都府と連携してより効果的なバックアップに努めたいと考えている。

< 並河委員 >

具体的に商店街等で本制度を利用して事業展開されている事例は。

< 産業観光部長 >

飲食関係で店舗改装等をする際などに利用されるケースが多い。詳細は金融機関からのマッチングで対応している状況であり、工業関係だけではなく、商業関係も利用いただいている。

< 並河委員 >

商店街が疲弊している中、もっとこのような支援策を講じてほしい。要望。

< 湊委員長 >

西別院工業団地用地の土地活用に係り、事業者との賃貸契約の状況は。

< ものづくり産業課長 >

京阪メガソーラー株式会社に対して山林部分を含め387万円で賃貸している。ユメミファクトリーに対しては当初150万円であったが、一部面積をメガソーラーの方へ移したので、合計で520万7千円の賃貸としている。

< 湊委員長 >

事業の進捗状況は。

< ものづくり産業課長 >

立木伐採が終わり、一部パネル設置用のフレーム等を搬入されている状況である。

< 湊委員長 >

事業実施は確実となっているのか。

< 産業観光部長 >

当初は京阪メガソーラー 1 者で事業運営を考えておられたが、資金繰りの関係もあり、ファイナンスが入って共同で事業展開されることとなっている。

< 藤本委員 >

当該用地の取得費はいくらであったか。

< ものづくり産業課長 >

用地取得費 8 億 4 8 7 0 万円、諸経費 4 8 5 0 万円、借入金利息 3 億 8 7 7 0 万円、その他手数料等を含め、合計 1 2 億 9 3 9 6 万円で取得したものである。

< 藤本委員 >

P 1 6 2、商工費の商工業振興公共下水道助成金の対象企業は。

< ものづくり産業課長 >

パナソニックディスクリット、ニチコンの 2 件である。

< 小島副委員長 >

P 1 6 2、商工費の企業立地奨励金に係り、資料 P 3 の奨励金支出実績にある各企業においてどれほどの雇用があるのか。

< ものづくり産業課長 >

各従業者数については、調査して後日報告したい。

< 湊委員長 >

従業者の内訳及び要件等を含め、資料として提出を求めることでどうか。(了)

< 小島副委員長 >

雇用促進奨励金が 1 件のみであることから、やはりもっと地元雇用を図るべきだと考えている。資料により確認したい。

< 菱田委員 >

P 1 6 6、観光推進経費に係り、本市観光入込客数の内訳は。

< 観光戦略課長 >

保津川下り約 2 0 万人、湯の花温泉約 2 0 万人、トロッコ列車約 1 1 0 万人、神社・仏閣関係約 2 8 万人、観光イベント関係約 6 2 万人、合計約 2 4 0 万人である。

< 菱田委員 >

イベント関係の主なところは。

< 観光戦略課長 >

光秀まつりや亀岡祭、花火大会、コスモス園やききょうの里などである。

< 菱田委員 >

P 1 6 7、観光地環境施設整備経費のハイキングコース等整備事業に係り、整備された 7 コースとはどこか。

< 観光戦略課長 >

明智越、とこなげ山、半国山等である。

< 産業観光部長 >

ハイキングコースの指定は社会教育で行われているが、その整備を所管している。

< 菱田委員 >

グリーンツーリズム等の開発の方向性は。

< 観光戦略課長 >

京都学園大学で研究されており、それを観光にどのようにつなげていくかを課題としている。本市では、「森の京都」などの取り組みを踏まえ、七福神めぐり等の川東方面を中心に考えている。また、城下町の宝探しゲームとして城下町散策の取り組みも継続していきたい。

< 福井委員 >

平和祭花火大会の運営は年々厳しくなっているが、今後スタジアムを踏まえての画策はあるか。

< 産業観光部長 >

実際のところ、花火を実施するかしないかの検討も必要としており、今後、関係者による検討会が実施される予定である。その中で、スタジアムを踏まえた方向性が示されるものと考えている。

< 福井委員 >

P166、大河ドラマ誘致活動事業経費に係り、今後の方向性は。

< 観光戦略課長 >

今回、報道機関に本市記者会見準備の事前情報が入ったほど、誘致実現に近い状況である。他と比べてもひけをとらず、関係自治体と連携して取り組んでいることから、今後も市民の盛り上げを図って要望活動に努めていきたい。また京都縦貫自動車道全線開通を契機として、「ガラシャ・光秀道」とネーミングし、関係市町と連携して観光PRにつなげている。その他、誘致へ向けたさらなるアプローチについて、推進協議会で協議していきたい。

< 福井委員 >

市民の盛り上がりに関して感じることは、光秀・ガラシャ・幽斎・忠興をテーマとして、それがどのような絡みでドラマ化されるのかイメージがわからないことであり、光秀公については反逆者のイメージが浸透している。そのあたりの考えについてはどうか。

< 観光戦略課長 >

ベストセラーとなった新書等を活用し、イベント等で著者に講演していただくなど、色々なPRを図るのも一つである。NHKへの要望には一定のシナリオを提出しているが、それをどこまで出せるかは検討しなければならないが、その中身をうまくPRできるように考えていきたい。

< 並河委員 >

トロッコ列車110万人の観光客の動向に係り、市内に誘導して滞留してもらえるような取り組みを図っているか。

< 観光戦略課長 >

嵯峨野観光鉄道でも様々に検討されており、京馬車で保津川下りにつなげたり、レンタサイクル事業も始められている。観光協会も加わり駐輪場で返却可能な運営も進められていることから、今後そのPRに努め、事業者、観光協会と連携し、滞在時間を増やせるような取り組みを図っていきたい。

[産業観光部退室]

~ 11 : 10

[休憩]

11:20～

[まちづくり推進部入室]

・まちづくり推進部長あいさつ

平成26年度亀岡市一般会計決算認定(第6号議案) 所管分
(2款総務費～8款土木費・3項河川費まで)

・まちづくり推進部所管課長、順次説明(歳出一括)

～11:43

[休憩]

13:00～

[質疑]

<藤本委員>

P171、過年度還付金の住宅地区土地改良事業に係り、つつじヶ丘団地整備に伴う跡地は既に売却されたのか。

<建築住宅課長>

本年10月27日の入札により決定見込みの状況である。

<並河委員>

P173、放置自転車撤去保管に係り、撤去自転車をどのように処理されているのか。

<土木管理課長>

返還する際には1台あたり2千円をいただいている。残った台数は馬堀の駐輪場に一定期間保管しているが、台数がたまってきた段階で、処理業者への売却を考えている。

<並河委員>

府道王子並河線の宇津根町 大井町間の道路拡幅工事の完成時期は。

<桂川・道路整備課長>

事業化されている区間については28年度完成予定と聞いている。

<福井委員>

P174、道路賠償責任保険料に係り、保険を使うと料率が上がるということはないか。

<土木管理課長>

それによる保険料の変更はないが、道路延長の変更等により保険料は変わってくる。

～13:03

(8款土木費・4項都市計画費～11款災害復旧費)

・まちづくり推進部所管課長、順次説明(歳出一括)

～13:30

[質疑]

<菱田委員>

P188、明許繰越分街路事業費に係り、中矢田篠線上矢田工区の総事業費及び馬

堀停車場篠線の事業見込みは。

< 桂川・道路整備課道路整備担当課長 >

中矢田篠線上矢田工区については、平成20 - 26年度を事業期間として、約4億円の事業費である。馬堀停車場篠線第2工区については、平成25 - 31年度を目標として、約14億円の事業規模を見込んでいる。

< 菱田委員 >

馬堀停車場篠線は第2工区で完結するのか。

< 桂川・道路整備課道路整備担当課長 >

第1工区と第2工区の間が府道と重複しているため、その拡幅等の計画もあるが、まずは第2工区を完結していきたい。

< 福井委員 >

P184、土地区画整理事業費の向嶋排水路整備に係り、当該整備は駅北の面整備よりも先に整備するものか。

< 都市整備課長 >

京都府の進める雑水川改修については、亀岡駅北地区が市街化区域になることを想定した断面で改修されるものとして、駅北及びJR上流側の流域の水量を見込み、雑水川の向嶋樋門へ流入させる工事内容であることから、区画整理に先立ち当該排水路整備を行うものである。

~ 13 : 36

(歳入一括)

・まちづくり推進部主管課長、順次説明

~ 13 : 42

[質疑]

< 並河委員 >

事項別明細書P19、住宅費使用料に係り、どれだけ滞納すれば退去となるのか、そのような基準はあるか。

< 建築住宅課長 >

条例により3カ月以上という規定を設けているが、実際には分納等の相談を行っており、その分納が不履行となる場合等に法的措置を取って退去を求める場合がある。基本的はそれぞれの個人の事情により対応している状況である。

< 藤本委員 >

P21、家賃督促手数料の件数は。

< 建築住宅課長 >

1件100円で236件分である。

< 福井委員 >

P21、屋外広告物許可手数料の状況に変化はあったか。

< 都市計画課長 >

件数については年度によりまちまちであり、大体このような状況である。

~ 13 : 45

[まちづくり推進部退室]

4 事務事業評価

< 湊委員長 >

次回 28 日に行う事務事業評価について、事務局の説明を求める。

(事務局より事務事業評価の流れ及び評価シートの説明)

- ・ 1 事業につき、執行部説明約 10 分、質疑約 10 分、評価約 20 分程度を想定し、全体で約 40 ~ 50 分程度を目安とする。
- ・ 録画配信を行うため、マイクの使用等、会議進行に留意する。
- ・ 質疑は一問一答で行う。
- ・ 各委員は、質疑の間に評価シートの記入を行う。委員長は個人評価に加わらず、その集計を行う。
- ・ 個人評価の集計結果に基づき、委員間の討議を通じて評価結果をまとめる。
- ・ 評価結果をまとめる段階で、執行部の意見を求め、その意見を踏まえ評価結果を決定し、それに附帯する意見(改善点等)をまとめる。

< 湊委員長 >

それでは、以上のとおり事務事業評価について、よろしく願います。(了)

~ 散会 13 : 54